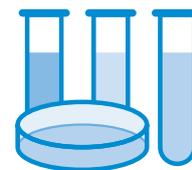


細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

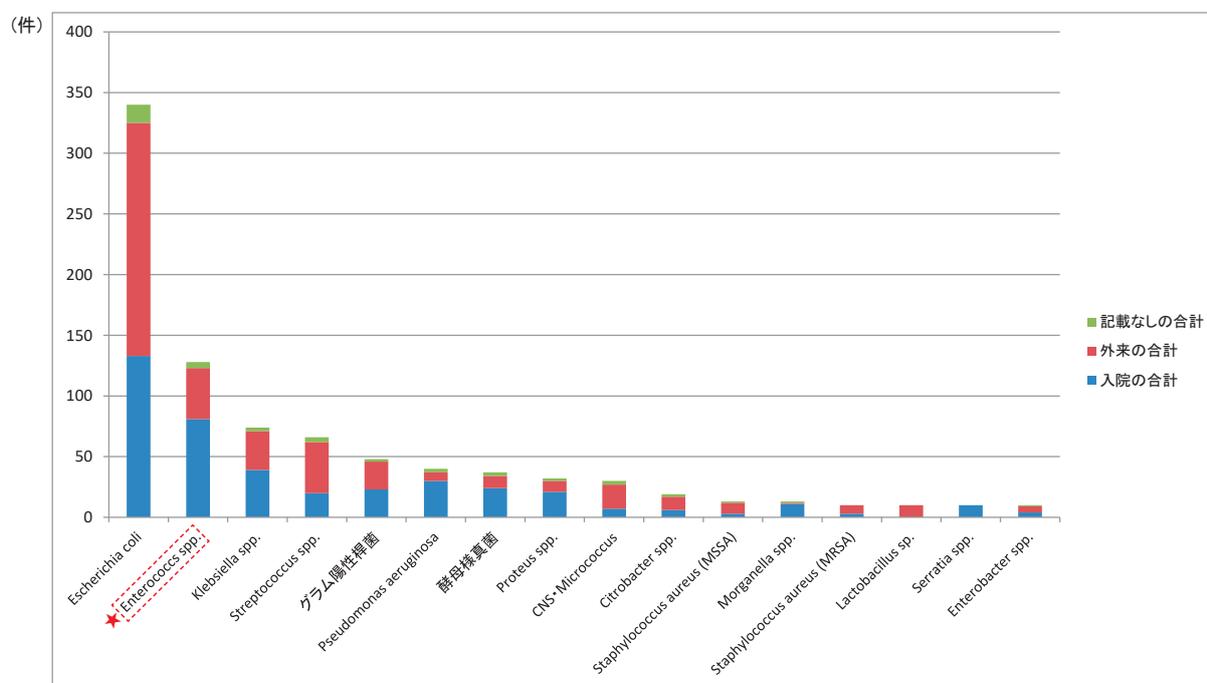


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び薬剤耐性菌分離状況を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、尿の細菌検出状況と薬剤耐性菌分離状況を掲載いたします。

【細菌検出状況】

【尿】細菌検出状況 2020年04月



2020年4月の尿の細菌検出状況では、*Enterococcus spp.* が2番目に多く検出されています。

Enterococcus spp. はグラム陽性の球菌で、健常人の腸管内や腔に常在しています。本来は弱毒性で、健常人では病原性を示すことは稀ですが、免疫機能が低下している患者の場合は尿路感染症、血流感染症などを起こす場合があります。

人から分離される *Enterococcus spp.* では、*Enterococcus faecalis* が最も多く、次いで *Enterococcus faecium* が一般的によく検出されます。*Enterococcus faecium* はペニシリンに耐性であるのに対して、それ以外の *Enterococcus spp.* は多くが感性を示します。

【薬剤耐性菌分離状況】

2020 年 4 月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	37%	10	12%	4	25%	92	67%	6	31%	5
	Klebsiella pneumoniae	15%	6	0%	0	10%	6	0%	0	20%	1
	Proteus mirabilis	67%	12	0%	0	55%	16	67%	4	57%	4
	Klebsiella oxytoca	33%	1	0%	0	10%	1	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	3%	1	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	3%	1	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ※1		67%	165	65%	13	32%	10	53%	9	32%	80
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		17%	32	0%	0	0%	0	0%	0	14%	2
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性 H.influenzae)		8%	15	0%	0	0%	0	0%	0	14%	2
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性 H.influenzae)		3%	5	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

耐性率 = (材料別耐性菌件数) ÷ (材料別対象菌件数) × 100

※1 耐性率 = (材料別 MRSA 件数) ÷ (材料別黄色ブドウ球菌件数) × 100

2020年4月は泌尿器系検体から MDRP(多剤耐性緑膿菌)が1件検出されています。

MDRP とは緑膿菌に対して効果が期待できるフルオロキノロン系抗菌薬、カルバペネム系抗菌薬、アミノ配糖系抗菌薬の3系統すべてに耐性を示す緑膿菌です。

感染防御機能の低下した患者や抗菌薬長期使用中の患者に日和見感染し、敗血症や尿路、気道などに多彩な感染症を起こすことがあります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況情報についての情報をご覧いただけます。http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/

検査科微生物係